

夏の特別企画「都道府県の枠を超えた連携と活動」

令和2年10月に始まった当講座は、おかげさまでこのたび50講座を数えるに至りました。これまでに、日本各地から延べ人数1000名近い樹木医の皆様に参加いただきました。そして、この講座を通じて講師を頂いた先生や参加者の間で、新たな交流があったとの声が寄せられるようになりました。

樹木医の活動は多岐に渡り、多様化する課題を解決するには、多くの専門家達との連携が欠かせません。そこで、今回の講座は夏の特別企画として「都道府県を超えた連携と活動」と題して、全国各地で活躍されている樹木医の皆様に登壇頂くことになりました。

従来は3単位の講座として開催してきましたが、今回は4単位の講座となります。皆様、ふるって参加ください。

主催：(一社)日本樹木医会大阪府支部、NPOおおさか緑と樹木の診断協会

開催日時：令和5年8月26日(土) 13:00~17:30

開催方法：Zoomでのリモート参加(定員80名)

樹木医CPD：4単位申請中

対象：日本樹木医会所属樹木医、NPOおおさか緑と樹木の診断協会員

参加費：無料

申し込み方法：次よりお申込みください

<https://kokc.jp/e/6d69b485d8efbb29f6472633478849d1/>

プログラム

*Zoomへの入室は12:50過ぎからとなります。

13:00 第18回講座開催のご挨拶

NPOおおさか緑と樹木の診断協会 大槻憲章 理事長

13:05-14:05【第一講座：講座No.48】

「ツリークライミングと樹木医業務の現在」

ジャパンツリークライミングチャンピオンシップで優勝し、国際大会への出場経験がある宇治田直弘樹木医より、ツリークライミングを通じて国内各地はもとより国境すらも超えての活動内容について、今後の皆さんの参考となるお話を頂きます。

樹木業Tree care ujiyan代表 宇治田 直弘(樹木医16期生)

14:15-15:15【第二講座：講座No.49】

「フランスにおける樹木診断について～Pulling(引張)試験による新しい樹木診断～」

フランスのナント市で受けた樹木診断のトレーニングに関して、吉岡賢人樹木医に紹介頂きます。

そこで学んだ「PiCUS TreeQinetic」による引張試験(樹体の耐破壊性や根の固定力を測定する最新の診断手法)などのお話に加え、昨年設立された欧州日本庭園協会の設立式典視察の様子などについても紹介頂きます。

株式会社吉岡緑地設立・代表取締役 吉岡 賢人(樹木医23期生)

15:25-16:25【第3講座：講座No.50】

「牧野富太郎博士は何をした人なのか?～その足跡と牧野植物園～」

NHKドラマのモデルとして現在脚光を浴びている植物分類学者・牧野富太郎博士。

個性的な人物像が取り沙汰されがちですが、彼は何をし、何を後世に残したのでしょうか。牧野博士の業績について、牧野植物園のガイド解説員として各地で公演されている藤井聖子樹木医に紐解いて頂きます。

高知県立牧野植物園 植物研究課 草花活用支援専門員 兼 教育普及推進課

ガイド解説員 藤井 聖子(樹木医26期生)

16:30-17:30【第4講座：講座No.51】

「樹木医が社会にもたらす価値～都道府県の枠を超えた連携と活動～」

数多くの研修会の開催や調査などに造詣の深い村尾満樹木医のお名前を耳にされている皆様も多いと思います。

携われている「NPO法人樹木研究会こうべ」の活動紹介を通じて、クビアカツヤカミキリ防除対策などの技術的側面、そして“樹木医と教育環境”や“樹木医がもたらす価値”などの定性的側面からのお話を頂きます。

NPO法人樹木研究会こうべ 理事(企画担当)村尾 満(樹木医19期生)

17:30 終了